

第三者評価結果

※すべての評価細目(45項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。
 ※評価項目毎に第三者評価機関判定理由等のコメントを記述する。

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
【1】	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 「みんないっしょ」の園の基本理念や基本方針は、ホームページやパンフレットにて周知している。また、新入園児の説明会の際に、基本理念や基本方針を保護者に説明し、資料を配布している。職員には入職時に、理念や方針を説明する他、子どもたちとの日々の関わりの中で、困ったこと等があった時には、理念や方針に照らし合わせながら、内容を検討することとしている。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
【2】	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<コメント> 月1回開催する職員会議には、本園の園長が出席して、経営状況や事業展開等、現状を説明している。また毎月、待機児童数の推移等を市に確認し、職員会議の場で職員に報告している。職員への周知は、職員会議の他、子どもの午睡時に、主担当と調理で行う日々の調整会議の場でも行うようにしている。		
【3】	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b
<コメント> 園がスタートして3年目を迎えている。経営状況について、現時点では大きな課題はないが、子どもたちへの支援や行事の内容等を日々振り返りながら、改善に努めている。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
【4】	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	c
<コメント> 園がスタートして3年目のため、今後に向けた中長期の計画は現時点では立てていない。本園と異なり、まだまだ園の存在が知られていないので、小規模な園の特徴を活かし、子どもたちを手厚く保育し、「選ばれる園」になることを目指している。		

【5】	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<p><コメント> 中長期計画は立てていないが、前年度を振り返って事業計画を作成している。また、事業計画の内容について見直しがあった場合には、職員全員で確認している。前年度の振り返りから、大きな行事を行う日は、朝のおやつ時間を早くする等、改善を行っている。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
【6】	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
<p><コメント> 事業計画は、本園の計画との整合性に配慮して、3月に園長が作成している。年度初めの職員会議で、計画書を配布して内容を説明しているが、非常勤やパートの職員への周知が不足していると感じている。事業計画の内容に見直しがあった際には、職員全員で確認している。</p>		
【7】	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	b
<p><コメント> 事業計画の内容は、入園説明会や園見学の際に、主に行事を中心にして保護者に説明している。また、毎月発行する「園だより」や「クラスだより」にて、保護者に伝えている。入園に際しては、事業計画の説明よりも、子どもの個別の状態(アレルギーの有無や皮膚の状態、哺乳瓶の種類等)を確認することに時間をかけている。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
【8】	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b
<p><コメント> 保育の質の向上に向け、開設2年目の年度末から職員が自己評価を行っている。この1年間の振り返りを行っているが、記入シートは既存のものを使っているので、今後は乳児を中心とした内容のシートに改善していきたいと考えている。自己評価結果は、職員会議等で内容を検討している。これまで、保護者に対してアンケート調査は実施していないが、今回の第三者評価の受審で保護者アンケートが行われたので、保護者の評価を確認するよい機会と捉えている。</p>		
【9】	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<p><コメント> 職員会議や日々の調整会議等の場で、自己評価の結果について話し合いを行い、内容を共有している。自己評価の実施は、より良い園にしたい、子どもたちにすべてをやってあげるという意味ではなく、小規模の園の特性を活かして手厚く関わっていききたいとの思いから始めることとした。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
【10】	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<コメント> 園長の役割と責任については、「分担表」に明記して、職員に周知している。「分担表」は、園長だけでなく、保育士の役割も明確にしている。研修会や勉強会に園長が積極的に参加し、提供する保育の質の向上につなげている。		
【11】	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b
<コメント> 園長が県のエキスパート研修に、主任と共に参加している。エキスパート研修は、4年間でマネジメントや乳児教育等のうち4つの専攻科目を修得することとされているが、時間をかけて5～6年で修了できるよう取り組んでいる。近隣の方には挨拶を忘れず、食材の業者とも良好な関係を保つ等、地域との関わりを大切にしている。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
【12】	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 日々の保育で課題等がある場合は、職員の意見を取り入れ、職員と一緒に考えるようにしている。また、保育士の手が足りない時には、園長も保育場面に積極的に入っている。課題に対しては、速やかに環境や人員配置の変更を行い、子どもの安全を第一に考えて行動している。日々の打ち合わせも、単に申し送りをするのではなく、保育の質の向上につながるよう取り組んでいる。また、本園の分園も乳児を対象としていることから、職員の交換研修を行い、法人全体の保育の質の向上に努めている。		
【13】	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b
<コメント> その日の子どもの出席状況やパート職員の出勤状況に、柔軟に対応するために、フリーの職員を3人配置している。また、食事の場面や園外散歩等の際にも、適正な職員数が確保できるよう配慮している。園長も保育現場に入り、子ども一人ひとりの対応の仕方等も、職員にアドバイスしている。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
【14】	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<コメント> 職員の採用は本園が行っているもので、就職の希望があった時には、本園につなげている。高校生の職場体験を積極的に受け入れ、大学生の見学の際は保育に参加してもらい、小規模の所が良いとの感想ももらっている。本園の実習生の中からも、小規模の保育所で働きたいとの希望があがることもある。		

【15】	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>子どもと同じ目線、視線の職員、子どもと一緒に遊ぶことのできる職員、育児と仕事の違いがわかる職員等、園が期待する職員像を示している。法人全体及び本園との合同で年数回、食事会等の交流会を行い、職員間の親睦を深めている。人事考課は、保育現場には難しい面があり、取り入れていない。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
【16】	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b
<p><コメント></p> <p>給与や賞与等の改善を図り、職員の働きやすさや仕事の魅力、やる気に配慮している。職員が負担なく働くことができるように、家庭環境等も考慮して、早番や遅番の希望や、次の月の休みの希望も入れるようにしている。意向調査を実施し、年1回、本園の園長と職員が面接する機会を設けている。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
【17】	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>意向調査を実施し、年1回、本園の園長と職員が面接する機会を設けている。意向調査では、今年度の振り返りや次年度の目標、勤務の希望等を記入したシートを用いている。本園の園長との個人面接は、10月に実施し、職員の思いを確認している。小規模の園なので、日頃から職員の体調等をよく観察するようにしている。</p>		
【18】	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
<p><コメント></p> <p>職員の研修への参加は、本園で企画したものに参加している。職員が年1回は外部の研修会に参加できるよう、園長が参加者を選んでいる。新人の職員は、4月に法人全体の新人研修を受けている。保育所保育指針の改訂に合わせ、保育内容やカリキュラムを策定している。カリキュラムは必ず振り返りを行っているが、見直しは十分ではないと感じている。</p>		
【19】	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p><コメント></p> <p>職員に必要な知識や専門性を学ぶことができる研修会に参加している。外部研修参加後は、復命書を提出し、回覧後に職員会議で研修報告を行っている。研修報告書はファイルし、いつでも内容を確認できるようにしている。また、本園の分園も乳児を対象としていることから、職員の交換研修を行い、法人全体の保育の質の向上に努めている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
【20】	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
<p><コメント></p> <p>実習生の指導マニュアルを整備し、受け入れの担当者も決めているが、園が新しいこともあり、これまで実習生の受け入れの実績はない。本園では実習生の受け入れを行っており、本園で実習中の学生が、見学に訪れている。法人の研修等にも参加し、実習生の受け入れ体制は整えている。</p>		

II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
【21】	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
<コメント> 運営の透明性を確保するため、ホームページやブログを活用して、情報を公開している。ブログは週1回または行事ごとに更新し、園の玄関にも写真を掲示している。苦情があった場合は、対応について玄関に掲示することになっている。特に苦情が上がった訳ではないが、降園時の保護者へのお願い等も玄関に掲示している。		
【22】	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
<コメント> 市の監査がまだ行われていないため、本園の監査内容等を確認して改善に努め、公正かつ透明性の高い適正な経営・運営に取り組んでいる。本園は管轄の市が異なるため、すべてに取り組むことはできないが、衛生面の改善等を行っている。法人全体で、外部の専門家による指摘や助言が受けられる体制を整えている。		

II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
【23】	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	c
<コメント> 園が新しいこともあり、地域との交流は活発とは言えない現実がある。園の運動会は地域の小学校の体育館を使用したり、地域のゴミ収集所の掃除やケースの組み立てを行ったり、外の掲示板で地域との交流の場を掲示したりしているが、乳児を対象とした保育所のため、子どもたちと地域の交流は難しい面がある。今後は職員が積極的に地域に出ていくよう取り組んでいきたい。		
【24】	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
<コメント> ボランティアの受け入れマニュアルは整備しているが、現在、活動しているボランティアはいない。以前は夏休みに、高校生がボランティアとして活動していた。運動会を地域の小学校の体育館で行ったり、小学校の絵画展に子どもたちの絵を展示したりしているので、地域との交流を深め、ボランティアを受け入れていきたいと考えている。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
【25】	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<コメント> 市の保育課とは、子どもの受け入れ人数等、毎月連絡を取り合っている。また児童相談所が開催する虐待の研修に参加し、市への通報義務等を職員会議で職員に周知している。子どもが虐待を受けているかどうか、観察をきちんとするようにしている。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
【26】	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	c
<コメント> 地域の福祉ニーズを把握するところまでは至っていない。地域とは、小さな関わりを積み重ね、その中からニーズを把握していきたいと考えている。本園の取り組みを参考にしながら、地域との関係性を強化していきたいと考えている。		

【27】	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	c
<p><コメント></p> <p>本園では、学童保育や地域の交通安全運動、老人ホームの訪問、ハロウィン等を行っていることから、本園の取り組みを参考にして、地域のニーズを把握して活動していきたいと考えている。0、1、2歳児が対象の園であるため、子どもたちの安全を最優先しながらの対応となるため、難しさも感じている。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
【28】	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>0、1、2歳児を対象とした園だが、子どもたちの人権を尊重し、丁寧な対応を行っている。子どもだから、男の子だから、女の子だからといった差別的な対応をしないこと等も、話し合っている。個人情報の取り扱いについては、入園時保護者に、行事の写真やブログへの掲載の可否等を書面で確認している。避難訓練や引き取り訓練、SIDS(乳幼児突然死症候群)の強化月間、土曜保育の案内等、必要な情報を園内の掲示で保護者に伝えている。</p>		
【29】	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a
<p><コメント></p> <p>プライバシー保護のマニュアルを整備し、入園時に保護者と面談して、個別に配慮してほしいこと等を必ず確認している。入手した情報や書類は、適切に保管し、必要ないものは、必ずシュレッダーで処理している。子どもたちの登園、降園時は、玄関のモニター画面で対応し、降園時に顔を知らない人の迎えがあった場合は、他の職員に確認したり、電話で確認したりしてから、子どもを引き渡している。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		
【30】	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a
<p><コメント></p> <p>利用希望者の見学は、11月の申込みの前にあり、園長が丁寧に対応している。選択にあたっては、ブログ等も参考にしてもらっている。見学者からの質問は、職員間で共有している。見学者には、見学後、感想をアンケート用紙に記入してもらい、今後の参考にしている。</p>		
【31】	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a
<p><コメント></p> <p>保育の開始や変更にあたっては、入園説明会で詳しく説明している。クリスマス参観や運動会の開催にあたっては、保護者にお便りを送り、内容を周知するとともに、参加人数等を事前に確認している。特別な変更がある場合は、口頭で説明したり、園内に掲示して、変更点の周知に努めている。</p>		
【32】	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>保育所等の変更はこれまでにないが、乳児を対象とした園なので、3歳になると、近くの保育園や幼稚園に移っていくことになる。子どもたちは、各クラス10人の小規模の園から、大きな規模の園に移っていくため、個々の関わりから、全体を通しての関わりを意識して行っている。子どもたちがスムーズに移行でき、新しい環境に慣れることができるよう、身の回りのことを自分で行うことができるよう、意識して関わっている。</p>		

Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
【33】	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
<p><コメント></p> <p>日々の関わりの中で、「育児日記」にて保護者の声を聴いている。4月の親子参観の場でも、保護者の思いを確認している。これまで、保護者に対してアンケート調査等は実施しなかったが、今回の第三者評価の受審では、保護者アンケート調査があるので、内容を確認し、今後に活かしていきたいと考えている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
【34】	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
<p><コメント></p> <p>苦情解決の仕組みを整え、玄関に掲示している。各クラス、主担当を中心に、日々の取り組みの中で保護者の声を聴いている。第三者委員も設置し、苦情解決の仕組みは整っているが、これまで保護者等から大きな苦情は上がっていない。</p>		
【35】	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	b
<p><コメント></p> <p>連絡帳として使用している一人ひとりの「育児日記」に、家では好き嫌いがあるが保育園ではどうか、スプーンは使っているか等の相談が多くある。保護者会や意見箱は設置していないが、保育参観等で保護者の声を聴いている。また、試食会を行い、保護者からアンケートを取り、意見を聴いている。試食会のアンケート結果は、現在、集計中である。</p>		
【36】	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
<p><コメント></p> <p>保護者からの相談や意見は、「育児日記」に書かれていることが多く、その日のうちに職員が対応している。時間を掛けて相談したい場合は、園内の落ちつける場所に対応している。また、内容によって、園長や主任が関わることもある。相談内容は、毎日、職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
【37】	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
<p><コメント></p> <p>乳児を対象とした園なので、安心・安全な保育の提供を目指し、職員全体で話し合いを行っている。保護者から離れ、さみしい気持ちを持つ子どもたちが、安心して、危険のない生活ができるよう、日々情報を共有しながら保育を行っている。備品の角にぶつかっても安全なように保護し、手洗い用の洗剤等は、子どもたちの手の届かない所に置いている。「安全管理マニュアル」を作成し、おもちゃや備品のメンテナンスが必要な時は、すぐに対応している。午睡の際の乳幼児突然死症候群に対して、0歳児は5分置きに呼吸等をチェックしている。外部からの侵入者対策として、建物内を施錠している。ヒヤリハット事例も報告書にまとめ、職員会議で事故防止の話し合いを行っている。</p>		
【38】	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p><コメント></p> <p>感染予防マニュアルを整備し、職員間で共有している。母親の免疫も薄れ、感染症に罹患しやすい年齢の子どもたちなので、毎日、家庭での様子や健康状態を保護者に確認している。玄関のホワイトボードには、保護者向けに感染症の状況を掲示している。保護者にはインフルエンザの予防接種をお願いし、感染症が発症した場合は、マニュアルに沿って対応している。感染症完治後は、医師からの登園許可の書類を提出してもらっている。</p>		

【39】	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p><コメント></p> <p>保護者には入園時に災害時の対応方法を説明している。マニュアルを整備し、災害時の職員体制や避難先、避難方法等を決めている。毎月、地震や火災、津波等の避難訓練を行い、うち1回は消防署の協力を仰ぎ、消火器訓練を行う他、子どもたちは消防車に乗ったり、消防服を着たりしている。子どもたちの歩行は不安定なので、避難訓練時は、避難車やバギー等を使用している。各クラスに、非常持ち出し用のリュックを準備し、非常食を倉庫に1週間分保管し、調理が管理している。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
【40】	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<p><コメント></p> <p>保育所保育指針に基づき、全体的計画や指導計画、個別支援計画等を作成し、保育を実践している。乳児が対象の園であるため、画一的な保育にならないよう、一人ひとりの発達を重視して、その子どもにあった個別の保育を行っている。0歳児は一人ひとり「0歳児記録」に細かく状況を記録している。職員会議等で、日々の保育の内容を報告し、見直しを行っている。</p>		
【41】	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
<p><コメント></p> <p>指導計画等の見直しは、月間計画は毎月、年間計画は3か月ごとに行う仕組みを作り、実践している。毎日の調整会議や職員会議等で、日々の保育の内容を報告し、見直しを行っている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
【42】	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b
<p><コメント></p> <p>入園時、子どもの様子を保護者から聴き取り、情報を入手している。生活調査表等の保護者からの情報は、ケースファイルに保管している。子どもたちは1か月の間にも大きな成長が見られるため、日々の変化を確認したり、当園、降園時の話や「育児日記」にて保護者から情報を入手し、個別支援計画に反映している。昨日まで手づかみで食事をしてきた子どもが、翌日はスプーンを持てるようになり、次の日は実際にスプーンですくって失敗したりと、変化している。子どもたちの日々の変化を、見落とさないようにしている。</p>		
【43】	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<p><コメント></p> <p>職員会議の場にて、年間指導計画は3か月ごとに、月間指導計画は1か月ごとに評価している。個別支援計画の見直しも行い、子どもの発達に応じた関わりができるよう、話し合いを行っている。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
【44】	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<p><コメント></p> <p>0歳児は毎日の検温や機嫌、食欲、睡眠、排泄、遊び等について、細かく記録している。1、2歳児は言葉の状況や友達との関係等を記録し、毎日の調整会議や職員会議の場で話し合いを行い、日々の保育につなげている。</p>		

【45】	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p><コメント></p> <p>個人情報の取り扱いについては、入園時に保護者に説明し、書面を配布している。個別の支援計画等、個人が特定される書類は、施錠できる棚に保管している。記録の管理者を園長とし、記録の管理に関する研修を園内で行っている。ブログ等で個人情報の漏えいがないよう、複数の職員で内容をチェックしている。</p>		